

外国人客へ民話絵本

利根商業高 10話英訳、宿泊施設に パソコン部

利根商業高（浜野雅樹校長）のパソコン部が、みなかみ町を訪れる外国人観光客向けに町に伝わる民話や伝説を英訳してまとめた絵本冊子を作成した。町内の旅館やホテルに配布するほか、電子書籍化して無料公開した。

みなかみ



みなかみ町の民話を英訳した冊子を作成した利根商業高パソコン部の部員たち

冊子は「Japan's Countryside Folk Tales (日本の田舎のお話)」とタイトルを付け、町の

昔話を英訳した10話を収めた。A5サイズで20ページ。1万5千部作成した。8人の部員が一人につき1、2話を担当し、約4カ月かけて原文の英訳とパソコンソフトを使った挿絵の制作に取り組んだ。英文は同校の英語教諭と英語指導助手（ALT）が文

章表現を校正して仕上げた。部長の関野有紀さん（3年）は「文中の擬音をどう訳すのかが大変だった」と振り返った。

同部は毎年、地域活性化に向けた取り組みを行っており、本年度はインバウンド（外国人誘客）を重点テーマに活動している。アウ

トドアや温泉の人気の高い同町だが、外国人観光客へ歴史や文化の発信が弱いと分析し、民話の絵本の作成を決めた。

今月中に町内の宿泊施設に配布する。より多くの人に見てもらうために電子書籍化（<http://tone-epub>

<http://tone-epub>

と話している。